

歯周病を

防ぐために。

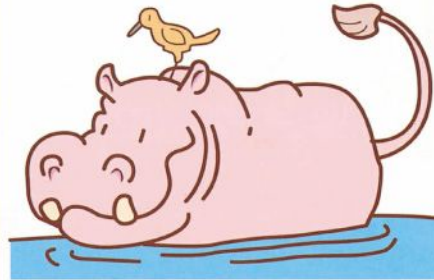
歯周病とは

むし歯よりこわい もう一つの歯の病気

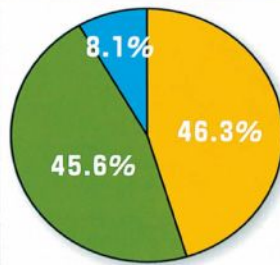
う蝕(むし歯)が歯そのものの病気であるのに対して、歯周病は歯肉や骨など、歯の周囲の組織が破壊される病気で、以前は歯槽膿漏と呼ばれていました。成人の60%以上の方が程度の差こそあれ、かかっていると言われています。

歯肉から血が出たら 要注意ですよ

歯周病にかかると歯肉が赤く腫れたり歯ブラシをした時に出血するといった症状が初期症状として現れます。歯周病の中でも軽症で、炎症が歯肉だけにとどまっている状態を歯肉炎と言います。歯肉炎を治療せずに放置すると、歯と歯肉の間に歯周ポケットと呼ばれる深い溝が形成され、うみが出たり歯肉が下がって歯と歯の間に食べかすが詰まったり、歯が動くといった症状が出て噛みにくくなります。このように歯を支えている骨の吸収が起こった重症の歯周病のことを歯周炎と呼び、歯周炎がさらにひどくなると歯が自然に抜けることもあります。



抜歯の原因



むし歯で失われるのと同じくらいの歯が、歯周病で失われています。中には、むし歯ではなく、歯そのものは健康であっても失われているのです。



神奈川県歯科医師会 1993

歯やお口のことについてわからない事がありましたら、お気軽に歯科医師会にお尋ね下さい。

社団法人 山形県歯科医師会

〒990-0031 山形市十日町二丁目4番35号
TEL/023-632-8020 FAX/023-631-7477

歯周病の原因は歯の汚れ デンタルプラークです。

赤く染め出されたプラークのなかには無数の細菌が含まれており、この中にむし歯をつくったり、歯ぐきを腫らしたりする細菌がいます。プラークが付着したままの状態にしておくと、ある種の歯周病の原因菌は固くなり、歯の表面にへばりつき歯石になります。歯ぐきが赤くなったり、腫れぼたくなったりしても、これを治療せずに放置しておくと、歯を支えている骨が吸収して歯と歯ぐきのさかいめから、膿が出たり、歯が動いて噛みづらくなります。さらに症状がすすむと自然に歯が抜け落ちてくることもあります。



歯の汚れを目に見えるように染め出す(赤色)

歯と歯ぐきの健康を守るためのポイント

ポイント1 プラークコントロール
食べたらみがく、正しいブラッシングの習慣が歯周病を起こしにくい環境をつくります。また、磨けていると思っていても、磨き残しはあるものです。歯科医や歯科衛生士の指導を受け、自分の歯みがきのクセを知り毎日のプラークコントロールを確かなものにしましょう。

ポイント2 定期健診
口のなかの歯周病の原因菌を完全になくすることは困難です。また、一度ついてしまった歯石はブラッシングで取り除くことは不可能です。どこにどのように歯石がついているか自分ではわかりづらいし、初期の歯周病は症状はきわめて軽い場合もあります。したがって、定期的に健診を受け、自分の歯ぐきをチェックしてもらおうが、健康な歯ぐきを保つひけつです。歯周病は再発しやすい病気といわれています。気軽に健診を受け相談できるかかりつけ歯科医をもつようにしましょう。

ポイント3 規則正しい生活習慣
歯周病は生活習慣病といわれています。食習慣や、喫煙など、日常の生活習慣をもう一度みなおしてみることも大切です。悪い習慣をすぐに改めて、よい習慣を長く続けることが、歯周病だけではなく、全身の健康維持・増進にとって大切なことです。



検診結果の状態と治療法

1 異常なし CPI 0

健康な歯ぐきです。
出血がなく、歯石も付着していません。
現在の状態を維持するようにしましょう。

2 要指導 CPI 1

初期の歯周病です。
歯周ポケットの深さはまだ浅いですが、
歯ぐきに炎症があるため、ポケットを測
ったときに出血します。
歯石は付着していません。

3-a 要精検 CPI 2

初期の歯周病です。
歯周ポケットの深さは3mm以下です。
歯石が付着しています。
歯石除去が必要です。

3-b 要精検 CPI 3

中等度の歯周病です。
歯周ポケットの深さは4~5mmです。
歯科医院での専門的治療が必要です。

3-b 要精検 CPI 4

進行した歯周病です。
歯周ポケットの深さは6mm以上のと
ころがあります。
このまま放置すると抜歯が必要となり
ます。

診査不能(×)

すでに、歯が1本もないか、診査の対象
となる歯が有りません。お口の中に歯が
残っている場合には、歯科医院を受診し
て精密検査を受けましょう。

診査不能について

CPIを使った検診方法は、歯周病のス
クリーニングを目的としているため、歯が1
本もないか、歯が残っていてもそれが規
定を満たしていない場合は、診査不能と
なります。最高で6本残っていても、診査
不能となる場合があります。逆に、2本しか
残っていないか、検診結果が出ることが
あります。

【歯周病の発症要因】

第1に

細菌因子

歯周病菌をかかえこむ
歯垢(プラーク)
が問題

その他に

環境因子

喫煙、ストレス、
不規則な生活などの
生活習慣

生体因子

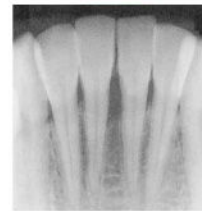
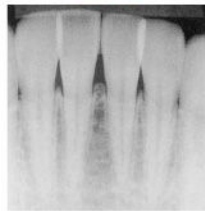
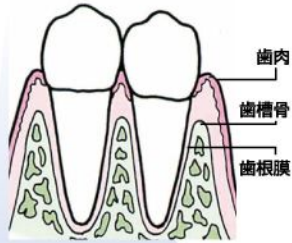
老化や遺伝などに加え、
糖尿病や肥満、
骨粗しょう症も



からだの健康は

健康な **歯** と

歯ぐき から
はじまります。



CPIとは、WHOによって提唱された地域における歯周疾患の実態を把握する指標であり、口腔内6分面のうちの最高コード値を個人の代表値(個人コード)とする。

歯周病の状況(CPI)の診査結果と歯ぐきの状態

CPI 歯ぐきの状態

- 0...病的所見を認めない。
- 1...プロービング後に出血がある。
- 2...歯石が付いている。
- 3...深さが4~5mm以上の歯周ポケットがある。
- 4...深さが6mm以上の歯周ポケットがある。
- ×...計画分画に機能している歯が2歯に満たない。

〔治療法〕

プラークが付着して炎症が起こっているため出血があります。正しい歯みがきを行うと1~2週間で出血はなくなります。正しい磨き方の指導を受けましょう。

〔治療法〕

精密検査の後、歯みがき指導を受けます。磨けるようになると、何回かに分けて歯石除去を受けます。歯石は歯ブラシでは除去できません。

〔治療法〕

精密検査の後、歯みがき指導を受けます。磨けるようになると、何回かに分けて徹底的な歯石除去を受けます。

〔治療法〕

精密検査の後、歯みがき指導を受けます。磨けるようになると、何回かに分けて歯石除去を受けます。抜歯が必要な場合もあります。歯ぐきの手術が必要な場合もあります。治療期間は長期間になります。